

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数 4年生・計126名
実施日 平成27年11月6日（金）
11月9日（月）

● 実施内容

○平成27年11月6日(金)、11月9日(月) 4年生4クラスをクラス毎に実施(各45分)

講座の目的：

「7.11水害」20年事業の一環として、失われつつある当時の記憶、教訓を次世代に伝え、将来起こる水害に対する心構えを身につけてもらうため、上越教育大学大学院山縣教授とともに出前講座を行うものです。

講座概要：

今回は第1回目の講座（全3回）で、以下の内容について学習しました。

- ①「7.11水害」とは ～当時の映像より～
- ②上越市ではどのような災害が起こるのだろうか？
- ③上越市における過去の水害、なぜ関川では洪水が起きるのだろうか？
- ④将来起こる水害の可能性

第2回目の講座では、学校外で洪水時に危険な場所を確認します。また、水害経験者のお話もお聞きする予定です。

【山縣耕太郎教授 プロフィール】

所属：上越教育大学大学院学校教育研究科社会系教育講座教授

専門は自然地理学（島弧火山発達史、第四紀環境変遷史など）。

専門を活かし、上越教育大学が主催する出前講座では、「地域の災害を想定する」をテーマに防災教育を行っている。



講座風景

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数 4年生・計126名
実施日 平成27年11月6日（金）
11月9日（月）

● 講座の様子



講座開始のあいさつ

クラスごとに（4年生4クラス）
講座を実施しました。



映像で「7.11水害」
について学習

小学校周辺が水に浸かっている様子
を見て、子供たちは驚いていました。



さまざまな災害について学習

地震や火山、天気による災害（洪水、
大雪など）があることを勉強しまし
た。



上越市における過去の水害
について学習

上越市は何度も水害の被害を受け
てきたことを当時の写真を見なが
ら勉強しました。



関川で洪水が起きる理由
について学習

まず、子供たちで考えて意見を出し
あっている様子です。保倉川や戸野
目川など川がたくさんある、雨がた
くさん降るといった意見が出ました。



上越市の降水量について学習

メジャーを使い、全国各地の年間
降水量の高さを表している様子で
す。上越市は他の地域に比べて雨
が多いため、関川で洪水が起きや
すいということが分かりました。



高田平野について学習

模型を使い、高田平野のできかた
を再現している様子です。高田平
野は洪水で運ばれた土砂によって
つくられ、関川はもともと洪水が
起きやすい地域であることが分か
りました。



講座終了のあいさつ

4クラスとも、積極的に手を挙げて
発言する子供や熱心にメモを取る子
供がたくさんいました。



「7.11水害」のパネル展示

講座終了後に、パネルを熱心に見る子
供たちの様子です。